

○×ゲーム

①○×ゲーム

これは、だれでも知っているおなじみの「○×ゲーム」です。#の中に「○か×を3つ先に並べた方が勝ち」というものです。

×	○	○
	○	
×	×	

←先手○。
この場合
×の勝ち。

②逆○×ゲーム

①の応用で、「○か×を3つ先に並べた方が負け」というものです。〈勝ち〉が〈負け〉に変わっただけなのですが、これが実に頭を使います。ものすごくがんばっても、つい3つならんでしまったりするのです。

③四六○×ゲーム

4×6のマスを書いて、二人交互に○×を書いて行くのですが、勝つには「たて」「よこ」「ななめ」のどこを使ってもいいから、四辺のうち外枠のうち二辺を結ばばいいのです。

たとえば、○□×のどれも、先に右図のように並んだら勝ちとなります。簡単そうに見えるのですが、ふだんの○×で「相手のマークが3つ並ばなくては負けない」というクセが身に付いてしまっているせいか、「2つだけで辺をとる」(上図の○)というのにうっかりやられてしまうことしばしばあります。また、#の○×ゲームよりもステージがずっと広いために、慣れてくると頭を使った勝負ができるようになります。囲碁の〈五目ならべ〉さながらの楽しさも味わうことができます。



